



Innovation today, healthier tomorrows

2018年度（2019年3月期） 第2四半期決算説明会

2018年10月31日
大日本住友製薬株式会社

将来予測に関する事項

- 本資料には、当社グループに関する業績その他の予想、見通し、目標、計画その他の将来に関する事項が含まれています。
これらの事項は、作成時点において入手可能な情報による当社の仮定、見積り、見通しその他の判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しております。
- したがって、その後のさまざまな要因により、予想・計画・目標等 が記載どおりに実現しない可能性や、実際の業績、開発の成否・進捗その他の見通し等が記載内容と大きく異なる結果となる可能性があります。
- 医薬品（開発中のものを含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

2018年度2Q決算概要

2018年度第2四半期 経営成績（コアベース）

金額単位：億円

	2017年度 2Q実績	2018年度 2Q実績	前年同期比			2018年度2Q累計		2018年度	
			増減額	うち為 替影響	増減率 (%)	予想	達成率 (%)	従来 予想	進捗率 (%)
売上収益	2,314	2,262	△52	△7	△2.2	2,300	98.3	4,670	48.4
売上原価	570	556	△14	△15	△2.5	535	103.9	1,100	50.5
売上総利益	1,743	1,706	△38	8	△2.2	1,765	96.6	3,570	47.8
販売費及び一般管理費*1	874	922	48	△4	5.5	945	97.5	1,950	47.3
研究開発費	403	413	10	△2	2.6	410	100.8	850	48.6
その他の収益・費用（コア内）*2	91	1	△90	—	△99.2	—	—	—	—
コア営業利益	558	372	△186	14	△33.4	410	90.6	770	48.2
条件付対価公正価値の変動額（△:損）	41	△69	△109			△85		△190	
その他の非経常項目（△:損）*3	△4	△7	△3			△5		△50	
営業利益	595	296	△299		△50.2	320	92.5	530	55.9
親会社の所有者に帰属する 四半期（当期）利益	453	279	△175		△38.5	220	126.7	350	79.6

*1 条件付対価公正価値の変動額および減損損失等の非経常項目を除く

*2 事業譲渡損益、持分法による損益等

*3 *2を除くその他の収益・費用、減損損失等の非経常項目

【為替レート】

2017年度2Q実績：1\$ = 111.1円 1元 = 16.4円

2018年度2Q実績：1\$ = 110.3円 1元 = 16.7円

2018年度従来予想：1\$ = 105.0円 1元 = 16.5円

主要製品売上収益（日本セグメント）

金額単位：億円

	2017年度 2Q実績	2018年度 2Q実績	前年同期比		2018年度2Q累計	
			増減額	増減率 (%)	予想	達成率 (%)
トルリシティ *	71	107	36	50.8	108	99.5
トレリーフ	81	79	△1	△1.6	72	110.1
ロナセン	65	63	△2	△3.5	64	98.4
リプレガル	58	63	6	9.5	62	102.2
メトグルコ	56	51	△5	△8.2	56	91.3
シュアポスト	25	30	5	21.2	29	102.7
アムビゾーム	22	20	△2	△9.8	22	89.7
プロモーション品計	377	414	37	9.7	413	100.2
アイミクス	92	58	△35	△37.5	65	88.9
アムロジン	60	47	△13	△21.3	48	97.6
プロレナール	29	21	△8	△26.3	23	92.5
アバプロ	51	15	△35	△70.0	22	69.0
ガスモチン	26	20	△6	△23.6	21	94.3
その他	94	89	△5	△5.3	88	100.9
合計	728	664	△65	△8.9	680	97.6

トルリシティは大きく伸長

トレリーフは薬価改定の影響で前年同期並みとなったが予想を大きく上回る

アイミクスは2018年6月以降、想定を上回る後発品侵食の影響

アバプロも想定を上回る後発品の影響

薬価改定影響額：45億円

(注) 上記の各品目別の売上高は、仕切価ベースで記載 (*トルリシティのみ薬価ベース)

主要製品売上収益（北米・中国セグメント）

	2017年度 2Q実績	2018年度 2Q実績	前年 同期比 増減額	2017年度 2Q実績	2018年度 2Q実績	前年同期比			2018年度2Q累計		
						増減額	うち 為替差	増減率 (%)	予想		円ベース 達成率
北米セグメント	百万ドル			億円			百万ドル	億円	%		
ラツォダ	779	813	35	865	897	32	△6	3.7	863	906	99.0
ブロバナ	147	152	4	164	167	4	△1	2.2	156	164	102.0
アプティオム	66	88	22	73	97	24	△1	32.9	95	100	97.0
ロンハラ マグネア	—	4	4	—	4	4	—	—	10	10	40.5
COPD治療剤 (導入3製品) *	2	3	1	2	3	1	△0	48.4	10	10	28.8
ゾペネックス	17	19	3	19	21	3	△0	14.3	17	18	118.2
その他	55	33	△22	60	36	△24	△0	△40.1	37	39	92.5
合計	1,064	1,111	47	1,182	1,225	43	△9	3.7	1,188	1,247	98.3
中国セグメント	百万元			億円			百万元	億円	%		
メロペン	610	587	△24	100	98	△2	2	△2.0	606	100	98.2
その他	90	94	4	15	16	1	0	6.6	91	15	105.3
合計	701	681	△20	115	114	△1	2	△0.9	697	115	99.1

ラツォダ、アプティオムは予想をやや下回るが、前年同期比では伸長

ロンハラ マグネアは2Qの進捗は低調

COPD治療剤も引き続き進捗は低調

* ウチブロン、シーブリ、アルカブタ

【為替レート】

2017年度2Q実績： 1\$ =111.1円 1元=16.4円

2018年度2Q実績： 1\$ =110.3円 1元=16.7円

セグメント別 経営成績 (コアベース)

金額単位：億円

		医薬品事業				合計	その他	連結 (コアベース)
		日本	北米	中国	海外その他			
2018年度実績	売上収益 (外部顧客向け)	664	1,225	114	70	2,073	188	2,262
	売上原価	259	97	19	35	410	146	556
	売上総利益	405	1,128	95	36	1,664	42	1,706
	販売費及び一般管理費	251	581	44	19	894	27	922
	コアセグメント利益	154	548	51	17	769	15	784
	研究開発費					408	5	413
	その他収益・費用					1	0	1
	コア営業利益					362	10	372
2017年度実績	売上収益 (外部顧客向け)	728	1,182	115	68	2,093	220	2,314
	売上原価	262	80	23	31	396	174	570
	売上総利益	467	1,102	92	37	1,698	46	1,743
	販売費及び一般管理費	252	534	37	18	842	32	874
	コアセグメント利益	215	568	55	18	856	14	870
	研究開発費					398	5	403
	その他収益・費用					91	0	91
	コア営業利益					549	8	558
増減額	売上収益 (外部顧客向け)	△65	43	△1	3	△20	△32	△52
	販売費及び一般管理費	△0	47	6	0	53	△5	48
	コアセグメント利益	△62	△20	△3	△1	△87	1	△86
	コア営業利益					△187	1	△186

日本セグメントは薬価改定の影響が大きく、減益

北米セグメントは新製品販売費用等の増加で減益

前年同期のその他収益には事業譲渡益が含まれる

2018年度第2四半期 経営成績（フルベース）

金額単位：億円

	2017年度 2Q実績	2018年度 2Q実績	前年同期比	
			増減額	増減率 (%)
売上収益	2,314	2,262	△52	△2.2
売上原価	570	556	△14	△2.5
売上総利益	1,743	1,706	△38	△2.2
販売費及び一般管理費	833	990	157	18.9
研究開発費	403	413	10	2.6
その他の収益・費用	87	△6	△93	
営業利益	595	296	△299	△50.2
金融収益・費用	15	80	65	
親会社の所有者に帰属する四半期利益	453	279	△175	△38.5

2018年度業績予想

2018年度 業績予想 (コアベース)

金額単位：億円

	2017年度 実績	2018年度 従来予想	2018年度 修正予想	前期比		従来予想比		
				増減額	増減率	増減額	うち為替影響	為替影響除く
売上収益	4,668	4,670	4,670	2	0.0	—	120	△120
売上原価	1,123	1,100	1,125	2	0.1	25	46	△21
売上総利益	3,545	3,570	3,545	0	0.0	△25	74	△99
販売費及び一般管理費	1,862	1,950	1,905	43	2.3	△45	53	△98
研究開発費	869	850	870	1	0.1	20	22	△2
その他の収益・費用 (コア内)	92	—	0	△92	—	0	—	0
コア営業利益	906	770	770	△136	△15.0	—	△1	1
条件付対価公正 価値の変動額 (△:損)	64	△190	△ 200	△264		△10		
その他の非経常項目 (△:損)	△88	△50	△ 40	48		10		
営業利益	882	530	530	△352	△39.9	—		
親会社の所有者に帰属する 四半期(当期)利益	534	350	350	△184	△34.5	—		
ROE (%)	12.4	7.5	7.5					

売上収益は従来予想から
円ベースで変更なし

(為替影響除き)
日本、北米で従来予想から減収
中国は増収

販管費は主に北米で減少
研究開発費は為替レート
の見直し相当分を増額

コア営業利益は従来予想
から変更なし

【為替レート】

2017年度実績： 1\$ = 110.9円 1元 = 16.7円
 2018年度従来予想： 1\$ = 105.0円 1元 = 16.5円
 2018年度修正予想： 1\$ = 110.0円 1元 = 16.5円

主要製品売上収益（日本セグメント）

金額単位：億円

	2017年度 実績	2018年度 従来予想	2018年度 修正予想	従来予想比 増減額
トルリシティ *	159	228	228	－
トレリーフ	161	145	160	15
ロナセン	126	125	125	－
リプレガル	117	122	124	2
メトグルコ	109	111	104	△7
シュアポスト	50	59	59	－
アムビゾーム	43	43	43	－
プロモーション品計	766	833	843	10
アイミクス	188	104	87	△17
アムロジン	114	91	91	－
プロレナール	54	43	43	－
アバプロ	84	40	29	△11
ガスモチン	49	39	39	－
その他	179	168	168	－
合計	1,433	1,318	1,300	△18

トレリーフは薬価改定の影響をカバーし前期並みに修正

アイミクス、アバプロは想定を上回る後発品影響により下方修正

(注) 上記の各品目別の売上高は、仕切価ベースで記載 (*トルリシティのみ薬価ベース)

主要製品売上収益（北米・中国セグメント）

	2017年度 実績	2018年度 従来予想	2018年度 修正予想	従来 予想比 増減額	2017年度 実績	2018年度 従来予想	2018年度 修正予想	従来 予想比 増減額
北米セグメント	百万ドル				億円			
ラツータ	1,611	1,759	1,759	-	1,786	1,847	1,935	88
プロバナ	299	326	315	△11	331	342	347	5
アプティオム	141	210	184	△26	157	221	202	△19
ロンハラ マグネア	-	48	11	△37	-	50	12	△38
COPD治療剤 (導入3製品) *	5	28	5	△23	5	29	6	△23
ゾペネックス	36	34	37	3	40	36	41	5
その他	80	79	64	△15	89	83	70	△13
合計	2,172	2,484	2,375	△109	2,408	2,608	2,613	5
中国セグメント	百万元				億円			
メロペン	1,216	1,152	1,211	59	204	190	200	10
その他	185	181	200	19	31	30	33	3
合計	1,401	1,333	1,411	78	234	220	233	13

ラツータはTVCMなどの対策により従来予想を据え置き

北米は上半期の進捗状況を踏まえ下方修正

中国は引き続き堅調

* ウチブロン、シーブリ、アルカブタ

【為替レート】

2017年度実績： 1\$ = 110.9円 1元 = 16.7円

2018年度従来予想： 1\$ = 105.0円 1元 = 16.5円

2018年度修正予想： 1\$ = 110.0円 1元 = 16.5円

セグメント別 業績予想 (コアベース)

金額単位：億円

		医薬品事業				合計	その他	連結 (コアベース)
		日本	北米	中国	海外その他			
2018年度 修正予想	売上収益 (外部顧客向け)	1,300	2,613	233	144	4,290	380	4,670
	売上原価	512	221	38	60	831	294	1,125
	売上総利益	788	2,392	195	84	3,459	86	3,545
	販売費及び一般管理費	524	1,193	92	35	1,844	61	1,905
	コアセグメント利益	264	1,199	103	49	1,615	25	1,640
	研究開発費					860	10	870
	その他収益・費用					0	0	0
	コア営業利益					755	15	770
2018年度 従来予想	売上収益 (外部顧客向け)	1,318	2,608	220	144	4,290	380	4,670
	売上原価	523	188	37	60	808	292	1,100
	売上総利益	795	2,420	183	84	3,482	88	3,570
	販売費及び一般管理費	525	1,242	85	35	1,887	63	1,950
	コアセグメント利益	270	1,178	98	49	1,595	25	1,620
	研究開発費					840	10	850
	その他収益・費用					-	-	-
	コア営業利益					755	15	770
増減額	売上収益 (外部顧客向け)	△18	5	13	-	-	-	-
	販売費及び一般管理費	△1	△49	7	-	△43	△2	△45
	コアセグメント利益	△6	21	5	-	20	-	20
	コア営業利益					-	-	-

日本はアイミクス、アバプロの後発品影響により減収減益

北米セグメントはdasotraline、COPD導入3製品の販売費を削減

中国は増収増益

連結業績のコア営業利益は従来予想どおり

主なトピックス（北米事業・日本事業）

ラツーダANDA訴訟の状況（米国特許9,815,827（用途特許）／9,907,794（製剤特許）

■ 2018年2月に提訴した訴訟の進捗状況

製剤特許のクレーム解釈および侵害を争う余地を残しつつ、用途特許の訴訟追行に注力する

- ✓ 裁判所から特許クレームの解釈（Markman Ruling）が示された（2018年10月5日付け）
- ✓ トライアルに向けて準備中
- ✓ トライアル：2018年11月下旬～12月初めの1週間に集中審議の予定

トライアルに向けた準備と並行して、裁判所の求めにより、被告各社と個別に和解協議中

- ✓ これまでの和解に向けた取り組みもあり、被告数は当初の16社から、10社に減少（10月29日（米国東部時間）現在）

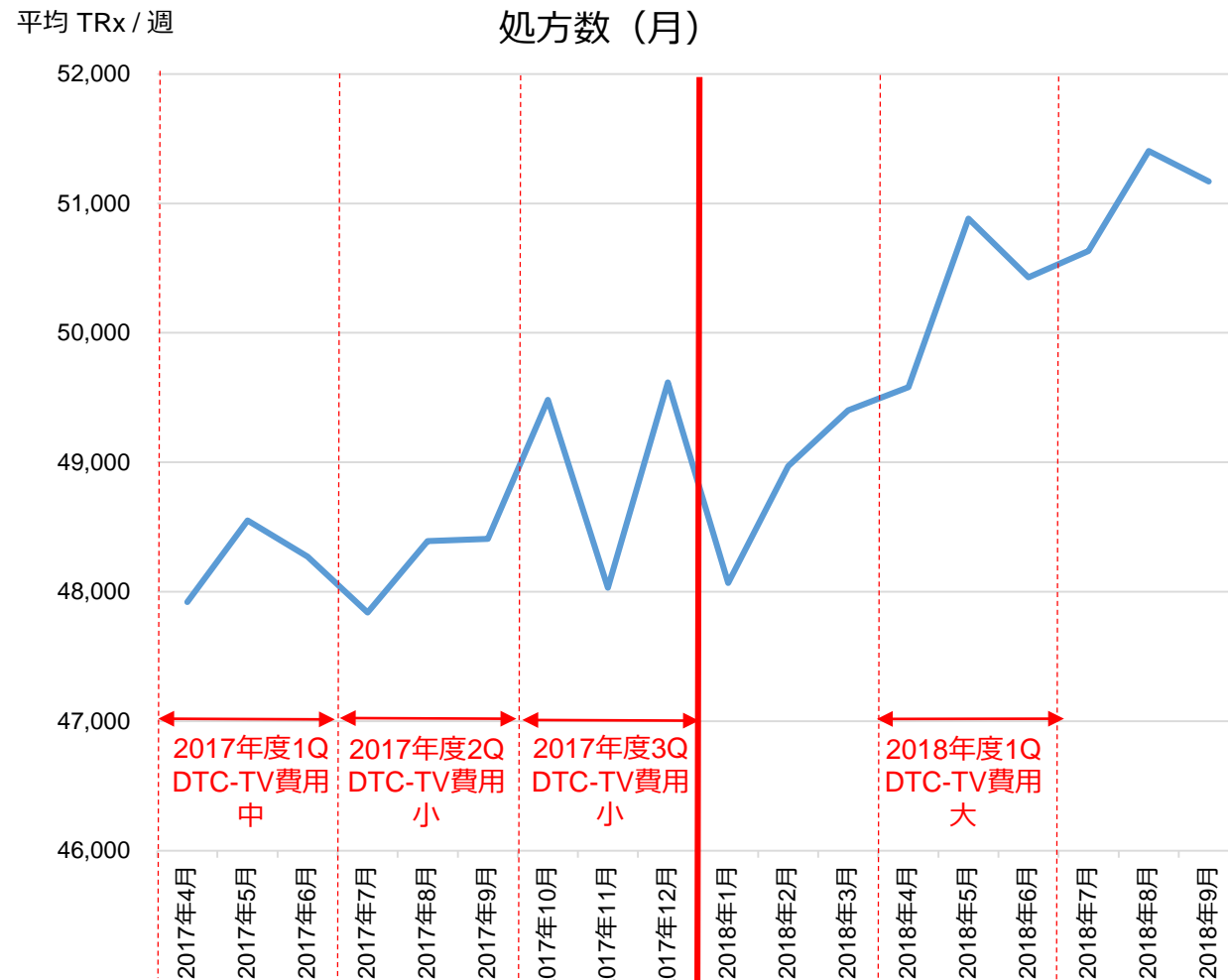
■ 2018年5月以降に新たに提起した訴訟について

- ✓ 新たにFDAに申請を行った後発品メーカー3社を相手に、2018年2月提訴の訴訟と同様に、用途特許および製剤特許に基づき、別のANDA訴訟を順次提起（2018年8月、9月、10月に各1件提起、3件係属中）
- ✓ 各訴訟手続は2018年2月提訴の訴訟とは独立して進行し、訴訟スケジュールに影響しない

ラツェダの処方数の増加

■ DTC投資と処方数の増加

- 2018年度上期 (6か月間) の処方数は、2017年度下期 (6か月間) と比較して 3.7%増加
- 営業活動および第1四半期に実施したDTCの効果により第2四半期の処方数が増加 (第1四半期に実施したDTCの効果は引き続き第2四半期に影響)



* 引用元: NPA, IQVIA Weekly Audit Data

Japan Business Unit の取り組み状況

■ 部門横断的な製品・開発品の価値最大化

● 部門横断プロジェクトチームによる戦略の策定と実行

- ✓ 2019年度上市に向けたロナセン（テープ製剤）Launch Readiness Teamの活動
- ✓ Imegliminの製品最大化施策の推進

■ 精神神経領域の強化

● 営業力強化

- ✓ 精神神経領域専任MRは約350名（2018年10月1日付けで約40名増員）
 - 増員理由：ルラシドンやロナセン（テープ製剤）の上市も見据え、精神神経領域に更なる注力
 - 高血圧症領域からのシフト

- ✓ 精神神経領域でMR強化プログラム「MRキャンプ」を継続実施
2018年度下期からは一般MR（特に糖尿病領域）も対象に実施予定
※MRキャンプ：臨床現場に即した実践的な宿泊研修

● トレリーフの売上好調

- ✓ 精神神経領域専任MRによるプロモーションが奏功（2016年12月に一般MRから担当変更）
- ✓ レビー小体型認知症に伴うパーキンソニズムの効能追加を機にトレリーフ全体のディテール数が増加

研究開発

研究重点領域とフロンティア領域の進捗状況（1）

■ 精神神経領域

● Dasotraline

- 米国：ADHDについてはFDAから審査結果通知（CRL）を受領（2018年8月）
今後FDAとの協議予定、上市目標は未定
- 米国：BEDについては2018年度申請目標

● ロナセン（ブロナンセリン）

- 日本：統合失調症のテープ製剤の申請（2018年7月）、2019年度上市目標

■ がん領域

● ナパブカシン

- 結腸直腸がん・膵がんのフェーズ3試験の患者登録は2018年度内に完了予定
- 結腸直腸がんのフェーズ3試験のプロトコール変更
 - ✓ 主要評価項目にp-STAT3高発現患者での全生存期間（OS）の評価を追加

● TP-1287 米国：固形がん（単剤）のフェーズ1試験を開始

- 低分子経口のサイクリン依存性キナーゼ（CDK）9阻害剤
- 体内での酵素により切断され、alvocidibを生成

研究重点領域とフロンティア領域の進捗状況（2）

■ 再生・細胞医薬分野

● 他家iPS細胞由来ドーパミン神経前駆細胞

日本：京都大学医学部附属病院がパーキンソン病のフェーズ1/2試験の医師主導治験を開始

● 他家iPS細胞由来RPE細胞

日本：ヘリオスと2018年度中の治験開始に向けて準備中

■ フロンティア領域：

- フロンティア領域の探索の一環として、メルティンMMIへ7億円を出資するとともに共同研究開発契約を締結（2018年10月）

- 当社が長年培ってきた医薬品事業の知見と、メルティンMMIの優れた生体信号処理技術・ロボット技術を利用し、医療機器などの共同研究開発を行う
- 患者さんに貢献できる新たな価値を提供することを目指す

2018年度の取り組み 研究開発の進捗状況

	品目	予定適応症	地域	2018年度目標 (2018年7月27日更新)	2018年10月30日時点の状況
精神神経 領域	トレリーフ	レビー小体型認知症 (DLB) に伴うパーキンソニズム	日本	承認	2018年7月承認取得
	dasotraline	注意欠如・多動症 (ADHD)	米国	承認・上市	申請中、審査結果通知を受領
		過食性障害 (BED)	米国	申請	申請準備中
	アポモルヒネ (APL-130277)	パーキンソン病に伴うオフ症状	米国	承認 (期初目標：承認・上市)	申請中
ロナセン	(新剤型：テープ) 統合失調症	日本	申請	申請中	
がん領域	alvocidib	急性骨髄性白血病 (AML) (再発・難治性患者対象)	米国	フェーズ2試験の推進 (期初目標：迅速承認申請)	フェーズ2試験のステージ2実施中
	ナパブカシン	結腸直腸がん、膵がん	米国・日本	フェーズ3試験の推進	フェーズ3試験実施中
再生・細胞 医薬分野	SB623	慢性期脳梗塞	米国	2019年前半にフェーズ2b 試験結果判明	フェーズ2b試験実施中
	他家iPS細胞 由来医薬品	加齢黄斑変性	日本	治験開始 (企業治験)	治験開始に向けて準備中
	他家iPS細胞 由来医薬品	パーキンソン病	日本	治験開始 (医師主導)	フェーズ1/2試験実施中 (医師主導治験)

主な開発品目一覧 (2018年10月現在)

 : 精神神経領域
 : がん領域
 : 再生・細胞医薬分野
 : その他の領域

* 2018年7月以降の変更部分は赤字で示しています

地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	
国内	dasotraline (ADHD)	alvocidib (AML)	amcasertib (固形がん)	ルラシドン (統合失調症/双極Ⅰ型障害うつ/ 双極性障害メンテナンス)	
	SEP-363856 (統合失調症)		DSP-7888 (固形がん/血液がん)	EPI-743 (リー脳症)	
	DSP-2230 (神経障害性疼痛)		DSP-6952 (便秘型IBS/慢性便秘)	ナパブカシン (結腸直腸がん/膵がん)	チオデパ (小児固形がんにおける自家 造血幹細胞移植の前治療)
	EPI-589 (筋萎縮性側索硬化症)			imeglimin (2型糖尿病)	
	SEP-4199 (双極Ⅰ型障害うつ)				
米国	DSP-2230 (神経障害性疼痛)	alvocidib (AML/MDS)	EPI-589 (パーキンソン病/ALS)	dasotraline (BED)	
	DSP-6745 (パーキンソン病に伴う精神病症状)	TP-0903 (固形がん/血液がん)	SEP-363856 (統合失調症/パーキンソン病に 伴う精神病症状)	ナパブカシン (結腸直腸がん/膵がん)	
	SEP-378608 (双極性障害)	DSP-0509 (固形がん)	SEP-4199 (双極Ⅰ型障害うつ)		
	DSP-3905 (神経障害性疼痛)	TP-0184 (固形がん)	alvocidib (再発・難治性AML)		
		DSP-0337 (固形がん)	amcasertib (固形がん)		
		TP-1287 (固形がん)	DSP-7888 (固形がん/血液がん)		
		SB623 (慢性期脳梗塞)			

製品上市目標（2018年10月現在）

地域	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
国内	<p>トレリーフ (レビー小体型認知症に伴うパーキンソニズム) * 2018年7月承認取得</p>	<p>ロナセン (統合失調症/テープ製剤)</p>	<p>ルラシドン (統合失調症/ 双極 I 型障害うつ/ 双極性障害メンテナンス)</p>	<p>ナパブカシン (結腸直腸がん/膵がん)</p>	<p>他家iPS細胞由来細胞医薬 (加齢黄斑変性) *2</p>
		<p>チオテパ (小児固形がんにおける自家造血幹細胞移植の前治療)</p>		<p>imeglimin (2型糖尿病)</p>	<p>他家iPS細胞由来細胞医薬 (パーキンソン病) *2</p>
				<p>DSP-6952 (便秘型IBS/慢性便秘)</p>	<p>DSP-7888 *1 (固形がん/血液がん)</p>
米国	<p>dasotraline (ADHD) *上市目標未定</p>	<p>アポモルヒネ (パーキンソン病に伴うオフ症状)</p>	<p>alvocidib *1 (AML)</p>	<p>ナパブカシン (結腸直腸がん/膵がん)</p>	<p>SB623 *2 (慢性期脳梗塞)</p>
		<p>dasotraline (BED)</p>		<p>DSP-7888 *1 (固形がん/血液がん)</p>	

: 精神神経領域

: がん領域

: 再生・細胞医薬分野

: その他の領域



ピーク時：グローバル売上が500億円規模またはそれ以上を期待する品目（最初の上市に記載）

*1 迅速承認制度活用を前提
(今後、FDAと協議予定)

*2 連携先との合意ではない当社の目標

参考資料

<目次>

- P.24 コア営業利益への調整項目
- P.25 財政状態およびキャッシュ・フロー
- P.26 再生・細胞医薬分野 事業化計画

コア営業利益への調整項目

2018年度2Q実績

金額単位：億円

IFRSフルベース		調整額
売上収益	2,262	
売上原価	556	
売上総利益	1,706	
販売費及び一般管理費	990	△69
研究開発費	413	
その他の収益・費用等	△6	7
営業利益	296	75

IFRSコアベース		主な調整内容
売上収益	2,262	
売上原価	556	
売上総利益	1,706	
販売費及び一般管理費	922	条件付対価公正価値の変動額 △69
研究開発費	413	
その他の収益・費用(コア内) (+:益) (事業譲渡損益、持分法による損益) *1	1	
コア営業利益	372	
条件付対価公正価値の変動額 (+:益)	△69	販売費及び一般管理費から △69
その他の非経常項目 (△:損) *2	△7	

IFRSフルベース：IFRSに基づいた各項目の財務値
IFRSコアベース：コア営業利益を算定するための調整を各収益・費用項目に加えた後の数値

*1 その他の収益・費用のうち事業譲渡損益、持分法による損益をコア営業利益の計算に含めている。
*2 *1を除くその他収益・費用、減損損失等の非経常項目

財政状態およびキャッシュ・フロー

金額単位：億円

B/S	2018年 3月末	2018年 9月末	増減額
資産	8,097	8,364	268
非流動資産	4,611	4,874	263
流動資産	3,486	3,490	4
負債	3,570	3,453	△116
非流動負債	1,467	1,540	73
流動負債	2,102	1,913	△190
資本	4,527	4,911	384
（自己資本比率）	55.9%	58.7%	

C/F	2017年度 2Q累計	2018年度 2Q累計	増減額
営業CF	357	70	△287
投資CF	30	△6	△36
財務CF	△128	△231	△102
期末現金及び 現金同等物残高	1,322	1,376	54
（運用資金残高）	1,468	1,524	55

【資産】

非流動	有形固定資産	+24
	無形資産	+101
	その他の金融資産	+74
流動	棚卸資産	+83
	現金及び現金同等物	△102

【負債】

非流動	社債・借入金	△15
	その他の金融負債	+107
流動	社債・借入金	△135
	営業債務及びその他債務	△95
	引当金	+76

主な増減

【営業CF】

税引前当期利益の減少	△234
------------	------

【財務CF】

有利子負債減少	△70
---------	-----

再生・細胞医薬分野 事業化計画（2018年10月現在）

予定適応症等	連携先	予定地域	細胞種	臨床研究	臨床試験（治験）
慢性期脳梗塞 (SB623)	サンバイオ	北米	他家 間葉系幹細胞		実施中 (フェーズ2b試験) *2
加齢黄斑変性	ヘリオス 理化学研究所	国内	他家 iPS細胞由来 網膜色素上皮	実施中	開始に向けて 準備中
パーキンソン病 (先駆け審査指定制度対象)	京都大学iPS 細胞研究所 (CiRA)	Global	他家 iPS細胞由来 ドパミン神経 前駆細胞		医師主導治験実施中 (フェーズ1/2試験) (日本)
網膜色素変性	理化学研究所	Global	他家 iPS細胞由来 視細胞	開始に向けて 準備中	
脊髄損傷	慶應義塾大学 大阪医療センター	Global	他家 iPS細胞由来 神経前駆細胞	開始に向けて 準備中	

2022年度
上市目標
*1

*1 上市目標は連携先との合意ではない当社の目標

*2 フェーズ3試験を予定しているが、フェーズ2b試験結果によって迅速承認申請を狙う



大日本住友製薬

Innovation today, healthier tomorrows